



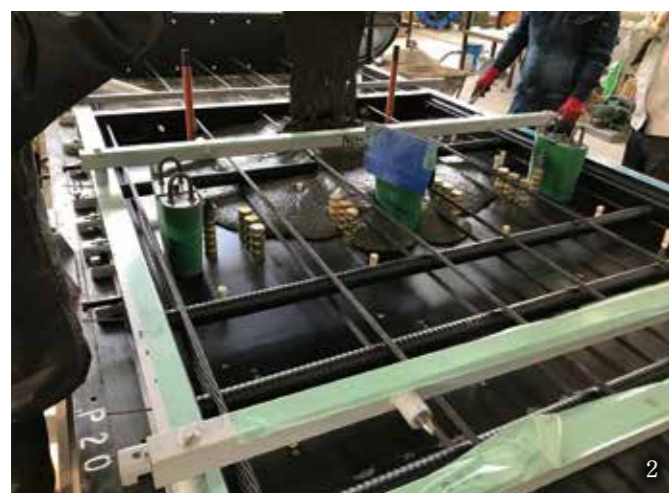
1



日建連表彰2022



第3回土木賞



2



3

1. 専用架設機による既設床版撤去  
2. 新設平板型UFC床版製作状況  
3. 完成

### 阪神高速12号守口線床版更新工事 概要

- 所在地 大阪府大阪市北区南森町2丁目
- 施設管理者 阪神高速道路㈱
- 設計者 飛鳥建設㈱、鹿島建設㈱
- 施工者 飛鳥建設㈱、鹿島建設㈱
- 関係者 第一カッター興業㈱、㈱オリエンタルコンサルタンツ、㈱富士ビー・エス、デンカ㈱、住友電気工業㈱、丸栄コンクリート工業㈱、ケイコン㈱、カジマメカトロエンジニアリング㈱、リテックエンジニアリング㈱、橋梁技建㈱
- 着工日 2020年2月1日
- 竣工日 2021年4月30日



詳細や他の写真などは  
左記の二次元コードからWebページに  
アクセスしてご覧ください。

の有益な方向であると考えられる。今後、現実の重交通下でのモニタリングを適切に行い、必要に応じて更なる改良・改善を重ね、よりよい技術として発展進化されることが期待され、日建連表彰土木賞に値するものと認められた。

### 受賞理由

本工事は、阪神高速道路において老朽化に伴い損傷が著しい合成桁の床版を更新するにあたり、更新後の耐久性を高めるとともに、通行止めによる社会的影響を最小化するため、現場作業を可能な限り短縮し、更に低騒音・低振動で実施するための様々な工夫がなされた床版更新工事である。

具体的には、新たな床版は、平板型UFC床版と呼ぶ超強度繊維補強コンクリート(UFC)製のプレキャスト床版であり、これにより薄肉化・軽量化を図り路面高さの変更を回避するとともに現行の設計活荷重に対しても鋼桁補強を不要とする他、狭隘な空間での現場作業の効率化も実現した。また、フルプレキャスト化を図ることによって床版端部の耐久性を向上させると

ともに、現場打ち作業を省略することも、工期短縮も図ることができた。

更に、旧床版の撤去工事においても、交通供用下で、ウォータージェットを用いて仮補強しながら主桁と床版の分離準備を進め、通行止め時の床版撤去作業の効率化を図ることにより、通行止め期間やコンクリート撤去工事につきものの騒音振動を大幅に低減した。

これらにより、より耐久性が高い構造物として再生させることができ、現場作業においても、社会的に影響の大きい通行止め期間の短縮や低騒音・低振動を実現できた。

今回の工事は、床版については約一〇年間、床版撤去技術については約四年間の開発・試験施工を経た上で初めて本線橋で採用したチャレンジ的な取り組みであり、特に都市内高速道路における本格的な更新時代に向けての技術開発の一つ

### 土木賞

土木賞は、募集の前年末までに概ね竣工した土木分野のプロジェクト・構造物を対象に、事業企画、計画・設計、施工、及び維持管理などに関する総合評価により選考を行います。選考に当たり、特に、施工プロセスの視点(施工プロセスの改善、良質な社会資本の効率的創出、土木技術の発展・伝承など)を重視しています。